

## 保健統計学

責任者・コーディネーター	人間科学科心理学・行動学分野 相澤 文恵 教授		
担当講座・学科(分野)	人間科学科心理学・行動学分野		
対象学年	3	区分・時間数	講義 22.5 時間
期 間	前期		
単 位 数	2 単位		

### ・学習方針（講義概要等）

本科目では、因果関係の判定、疫学、人口統計、確率および統計の考え方を概説するとともに、推測統計学の基礎と保健医療分野での推定方法、検定方法について学修する。また、統計処理ソフトを用いた推定、検定の演習を行い、推測統計学の考え方の理解を深める。さらに、人間集団の健康問題を明らかにし、その要因を見出して健康問題解決へと繋げる目的で、各種保健統計指標やEBMに用いられる各種指標を理解する。保健医療の現場で統計学を効果的に応用する基礎能力を修得する。

### ・教育成果（アウトカム）

統計学の基本的な考え方や手法を理解し、データの性質と分析目的にふさわしい検討方法を選択・応用することによって、医療に関わるデータを患者・地域住民の健康に寄与するデータとして還元する方法を修得する。

#### 【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：1、3、4

### ・到達目標（SBO）

1. 研究方法とデータの収集方法について理解できる。
2. 標本データの正しい整理、要約ができる。
3. 推定・検定を理解し、統計学的検定を実行できる。
4. 疫学指標を理解し、算出できる。
5. EBM で用いられている各種指標を理解し、算出できる。
6. 多変量解析と生存分析の基礎を理解し、応用法を説明できる。
7. 人口統計と保健・医療統計について理解し、人口構造・動向が社会、医療に与える影響について考察できる。

・ 授業日程

(矢) マルチ 4-A 講義室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
4/11	木	4	人間科学科 心理学・行動科学分野	相澤 文恵 教授	<p>イントロダクション【グループワーク】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 統計学が看護学に不可欠な理由について説明できる</li> <li>・ 統計学の機能について説明できる</li> </ul> <p>事前学習：看護師が統計学を学ぶ意義について考え、300字程度にまとめておく。 事後学習：学習のまとめを完成して提出する。</p>
4/15	月	2	人間科学科 心理学・行動科学分野	相澤 文恵 教授	<p>データの種類と分布(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 母集団と標本集団について説明できる</li> <li>・ 標本抽出法の種類と概要について説明できる</li> <li>・ データの種類を列挙できる</li> <li>・ 基本統計量と代表値を算出できる</li> </ul> <p>事前学習：教科書 20～23、109～118 ページを読んでおく。 事後学習：学習のまとめを完成して提出する。</p>
4/16	火	3	人間科学科 心理学・行動科学分野	相澤 文恵 教授	<p>データの種類と分布(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相関と回帰について説明できる</li> <li>・ 統計処理ソフトを用いて相関係数、回帰式の算出ができる</li> <li>・ クロス集計表を作成することができる</li> </ul> <p>事前学習：教科書 119～123 ページを読んでおく。 事後学習：学習のまとめを完成して提出する。</p>

4/22	月	2	人間科学科 心理学・行動科学分野	相澤 文恵 教授	<p>統計分析(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 検定、帰無仮説、統計学的有意性について説明できる</li> <li>・ 平均に関する推定と検定を説明できる</li> </ul> <p>事前学習:教科書 124~127、130~133 ページを読んでおく。 事後学習:学習のまとめを完成して提出する。</p>
5/10	金	1	人間科学科 心理学・行動科学分野	相澤 文恵 教授	<p>統計分析(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 統計処理ソフトを用いて平均値の差の検定を実行できる</li> </ul> <p>事前学習: 前回講義で配布した資料を読んでおく。 事後学習: 学習のまとめを完成して提出する。</p>
5/13	月	2	人間科学科 心理学・行動科学分野	相澤 文恵 教授	<p>統計分析(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一元配置分散分析について説明できる</li> <li>・ 統計処理ソフトを用いて一元配置分散分析を実行できる</li> </ul> <p>事前学習: 前回講義で配布した予習プリントを確認する。 事後学習: 学習のまとめを完成して提出する。</p>
5/23	木	4	人間科学科 心理学・行動科学分野	相澤 文恵 教授	<p>統計分析(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 独立性の検定 (<math>\chi^2</math> 検定) について説明できる</li> <li>・ 相関に関する検定を説明できる</li> </ul> <p>事前学習: 教科書 127~129、133 ページを読んでおく。 事後学習: 学習のまとめを完成して提出する。</p>

6/3	月	3	人間科学科 心理学・行動科学分野	相澤 文恵 教授	<p>統計分析(5)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ノンパラメトリック検定を説明できる</li> </ul> <p>事前学習：教科書 133～136 ページを読んでおく。 事後学習：学習のまとめを完成して提出する。</p>
6/10	月	3	人間科学科 心理学・行動科学分野	相澤 文恵 教授	<p>疫学調査に用いられる指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リスク比を算出できる</li> <li>・スクリーニング検査の評価指標を算出できる</li> </ul> <p>事前学習：教科書 14～16、60～64 ページを読んでおく。 事後学習：学習のまとめを完成して提出する。</p>
6/12	水	1	人間科学科 心理学・行動科学分野	相澤 文恵 教授	<p>EBM に用いられる指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・EBM の目的と手法について説明できる</li> <li>・EBM の評価指標を算出できる</li> </ul> <p>事前学習：新聞、ネット等における EBM に関する情報を搜してみる。 事後学習：学習のまとめを完成して提出する。</p>
6/24	月	3	人間科学科 心理学・行動科学分野	相澤 文恵 教授	<p>多変量解析の基礎</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・重回帰分析について説明できる</li> <li>・ロジスティック回帰分析について説明できる</li> <li>・生存分析について説明できる</li> </ul> <p>事前学習：教科書 136～137 ページを読んでおく。 事後学習：配布資料をもとに復習する。</p>

7/1	月	3	人間科学科 心理学・行動科学分野	相澤 文恵 教授	<p>質問紙調査(1)【講義とグループワーク】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的に応じた質問紙を作成できる</li> </ul> <p>事前学習：教科書 176～177 ページを読んでおく。 事後学習：質問紙調査によって得られたデータをエクセルに入力しておく。</p>
7/8	月	3	人間科学科 心理学・行動科学分野	相澤 文恵 教授	<p>質問紙調査(2)【双方向型授業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・質問紙調査によって得られたデータを適切に分析できる</li> </ul> <p>事前学習：分析に用いる統計手法を選択しておく。 事後学習：分析結果をプレゼンテーション用にまとめる。</p>
7/10	水	1	人間科学科 心理学・行動科学分野	相澤 文恵 教授	<p>質問紙調査(3)【プレゼンテーション】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・質問紙調査の結果をプレゼンテーションすることができる</li> </ul> <p>事前学習：プレゼンテーションの準備をする。 事後学習：分析結果をプレゼンテーション用にまとめる。</p>
7/16	火	2	人間科学科 心理学・行動科学分野	相澤 文恵 教授	<p>さまざまな統計調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口静態統計、人口動態統計について説明できる</li> <li>・生命表について説明できる</li> <li>・主な保健統計調査について説明できる</li> <li>・個人情報保護について説明できる</li> </ul> <p>事前学習：教科書 144～163、179～182 ページを読んでおく。 事後学習：配布資料をもとに復習する。</p>

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	標準保健師講座別巻2 疫学・保健統計学	牧本 清子 他	医学書院	2015
参	保健統計・疫学 改訂6版	福富 和夫 他	南山堂	2018

・成績評価方法

定期試験（50%）、提出物（50%）で評価する。

・特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】

シラバスに記載されている授業内容および到達目標を確認し、予習した上で授業に臨むこと。統計解析手法についての授業（1回目～10回目）終了後は、学習のまとめをWeb classで提出すること。また、提出物がない回については配布資料基に授業内容の復習を行うこと。最低30分以上の学習を要する。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

提出課題についての解説とフィードバックを次回講義時に行う。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

保健師（別表1）：保健統計学

看護師（別表3）：専門基礎分野 健康支援と社会保障制度

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノート型PC (dynabook R634/K, Surface Pro FJY-00014)	1	講義資料の提示
講義	プロジェクター (VPL-FWZ60)	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ (P-100)	1	講義用資料投影